

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105081
法人名	医療法人 尚文会
事業所名	グループホーム 竹山苑
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2570番地1 (電話) 099-298-2161
自己評価作成日	令和3年10月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年11月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・山々の景色や田んぼが目の前にひろがり四季折々の季節を感じられ、心とからだ健康で元気に暮らせる環境です。
- ・コロナ禍でも利用者様と職員とで行事を開催し利用者様が笑顔で楽しく過ごして頂けるよう支援しています。
- ・職員は理念に沿ったケアの実践に努め支援しています。
- ・利用者様のニーズや残存機能、日々の変化を共有しサービスの質の向上に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当グループホームは、理念をホールなどに掲げ、日誌に理念を基に今日一日の振り返りを記録している。
- ・ホームの近くに地域コミュニティーセンターがあり、会場として使用したり、避難所としても活用している。
- ・ホームは季節を感じさせ暖かいゆっくりくつろげる環境になっている。
- ・職員が心がけていることは、笑顔で一日を利用者と接し、家庭的な雰囲気作りに務めている。
- ・医療連携がとれている。
- ・家族にも竹山だよりを毎月送り状況報告をしている。
- ・近隣住民から野菜や果物の差し入れがあり、町内会回覧板に「グループホーム竹山だより」を入れてもらい広報している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、職員は申し送り後、一日のスタートとして会社の理念を唱和し理念に基づいたケアの実践に繋げている。実践できたことを記録に残している。	理念は玄関やホール各ユニットに掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝申し送りの最後に唱和している。業務日誌に理念に沿ってどのような支援をしたか記録している。理念を振り返り実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら地域の方々との繋がりを大切にしより良い暮らしが出来るように支援している。	自治会に加入し地域の回覧板に『竹山苑便り』を入れて情報を伝えている。祭りは職員と利用者のみで行った。面会は窓越し。地域住民からの野菜の差し入れや散歩時にはあいさつを交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所は運営推進会議などで認知症の方の理解や支援方法を地域の方々にお伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し活動報告や活動計画、利用者サービス状況などを報告し意見交換を行っている。意見などサービス向上に活かしている。	会議は公民館で2ヶ月毎に開催している。活動報告や利用者サービス状況等の報告をして意見交換を行っている。意見や要望を取り入れ、職員は共有して実践に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議などを通して事業所の実情やサービス状況、活動報告や活動計画など報告している。欠席された時は資料を送付してサービスの取り組みを積極的にお伝えしている。	市の担当者とは、書類申請時に窓口に出向いたり、電話で相談し助言をもらっている。研修会にはズームでの参加をしている。運営推進会議を通して活動報告等をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての研修を全職員対象に開催し身体拘束事例に基づいて身体拘束を正しく理解し、しない、させない、見逃さないケアに努めている。玄関の施錠はしないを基本に努め、夜間のみは安全の為に施錠している。	3ヶ月毎に身体拘束廃止委員会を実施し、研修をしている。「身体拘束はしない」を掲げ昼間は玄関の施錠はしていない。外出希望時は職員と一緒に外かけて散歩に切り替え拘束しないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は年1回高齢者虐待防止法について学ぶ機会がある。事業所内で虐待が行われないよう職員動詞が注意し合い虐待防止に務めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	全職員を対象に権利擁護に関する制度の仕組みについて研修を開催し権利擁護に関する制度を正しく理解し、利用者様の必要に応じた制度の活用が出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結や解約、改定等の際は利用者や家族に十分に説明を行い理解、納得していただけるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々の暮らしの中で利用者様との信頼関係を築き要望意見をお聞きし運営に活かしている。年2回の家族会を開催し、ご家族様からの要望意見などお聞きし運営に反映させている。玄関先に意見箱も設置している。</p>	<p>利用者の意見や要望は、日常の関わりの中で把握し記録に残している。家族からは面会時・受診時・家族会等の機会を大切にしている。家族の意見や要望は運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議や申し送り時など運営に関する職員の意見や提案を聞く機会があり運営に反映させている</p>	<p>管理者は職員の意見はミーティングや職員会議等で聞いている。昼休みに等に話易い雰囲気づくりに心がけている。職員間もお互いに相談しやすく、支援についても出された意見や提案は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、職員の実績・勤務状況など把握できるよう努めている。職員がやりがいを持って働けるよう職場環境を整備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、管理者や職員がスキルアップできるよう法人内外の研修の受講について推奨している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、管理者や職員はオンライン研修などで同業者と交流する機会がある。情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人が不安な事や要望など話しやすい雰囲気作りと本人に寄り添いながら話しを聞くことで安心して頂き信頼関係を築けるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族と利用者の関係性を理解したうえで要望や不安な事をお聞きし、いっしょに利用者を支えていく関係作づくりに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者、家族の思いや要望を受け止め必要なサービスを見極め安心安全に暮らして頂けるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で利用者様の自立支援に向けた援助を行うと共に一緒に笑い、喜び、悲しみ等支え合い信頼関係を築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍にあり中々面会も出来ず電話で日々の生活状況をお伝えしたり、毎月担当者からお便りや竹山苑便りなどで1ヶ月の施設での生活の様子をお伝えし関係性を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所後も馴染みの方や場所などの関係が継続できるよう家族に協力頂きながら支援している。	馴染みの知人とはコロナ禍で自粛している。現在は電話で話したり、散歩コースや受診帰りに自宅付近をドライブして、途中友達と出合ったりして会話している。美容師は訪問で対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を職員間で情報共有し、散歩やレクリエーション等を通じて利用者様同士が関わりを持ち支え合えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもこれまでの関係性を大切に必要に応じて相談支援など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人ひとりの思いや暮らしの希望などが叶うように日々の関わりを大切にしている。本人主体のマネジメントができるよう支援している。	思いや暮らし方を個別に把握し記録に残している。コミュニケーションが困難な利用者については顔の表情や仕草で反応を観察し、家族と相談し本人の思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族からこれまでの生活環境や生活歴、馴染みの暮らし方など日々の中で聞く機会を設けておりサービス利用の経過など把握している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの中で関わりを持ちながら利用者の心身の状態や持っている力を把握できるよう努めている。利用者がその力を発揮できるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月担当者がモニタリングシケアの評価を実施している。本人や家族、関係者の意向や意見などを反映し介護計画を作成している。	本人・家族・職員・必要な関係者で話し合い、担当者会議を開き主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、見直しは6ヶ月毎に実施、状況に応じて、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ったケアを実践し日々の様子、状態変化、表情の変化など記録に残し日々の申し送りなど通じて情報共有し介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態や家族の状況などその時々ニーズに対し柔軟なサービスの提供を行うよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様は地域資源に触れることは少ないが鹿児島県生産の牛肉豚肉等を安心して食され健康で豊かな生活を送ることが出来るように支援している。地域のお米の成長を目の前で見られ楽しまれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望を大切に、今までのかかりつけ医と連携を取り希望に沿った適切な医療を受けられるように支援している。	契約時に確認し、希望で以前からのかかりつけ医を継続している。他科受診は家族に行き、家族が行けない場合は職員で対応し報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員は利用者様と日々の関わりの中で状態変化に早く気づけるようにし、日頃から医療機関との連携を取り変化に気付いたら、早めに受診に繋げられるように支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者の入退院時サマリーで病院関係者と情報交換を行い適切な治療ができ早期に退院できるよう支援している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重症化や終末期に向けたあり方について事業者でできる事など本人、家族に十分説明し方針を話し合いチームで支援している	重度化した場合、終末期の対応について指針やマニュアルがある。早い段階での説明、医療連携をとり事業所内でできるぎりぎりの範囲の支援を行っている。状況変化に伴い主治医・家族・職員で話し合い医療機関や介護施設等の選択肢を家族の意向を確認し支援している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	職員は急変や事故発生に対応出来るように「緊急時対応マニュアル」に沿って研修を開催し、緊急時に備えて努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震、水害など防災訓練で利用者の避難方法を全職員は身につけ実践できるよう努めている。地域の方との協力関係体制を築いている。</p>	<p>年2回消防署立ち合いで火災・地震・水害等の避難訓練を実施している。緊急連絡網も事務所に掲示し、地域の会長をはじめ役員の協力を得ている。避難場所は公民館。地域の訓練にも参加している。災害時の水・米・レトルト食品・インスタント食品・缶詰等、ガスコンロ等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は一人ひとりの暮らしてこられた生活歴を把握し、人格を尊重しながら誇りやプライバシーの保護に努め言葉使いや言葉かけに気を付け対応している。	職員会議等で人格を尊重しプライバシーを損ねないように、勉強会を実施している。入室時の声掛けやノック、トイレはドアを閉める、入浴時の声掛け等、話し合って支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々コミュニケーションを取りながら希望や思いを伝えることが出来るように信頼関係を築き利用者様が自ら自己決定出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らしの中で一人ひとりの体調やペースを大切に、利用者様に合わせた過ごし方が出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の希望を聞きながら着替えの支援をしている。毎朝鏡を見ながら髪を整えられおしゃれを楽しまれている。3ヶ月に一度の訪問美容室にてカット染めなど支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行ったり季節に合わせた献立にしたり利用者様の誕生日には好きな物を召し上がって頂き楽しんで頂いている。野菜の下ごしらえを一緒に行い台所より美味しそうな匂いがするところメニュー紹介をし喜ばれている。	嗜好調査をして、旬の食材を使い食事を提供している。誕生会には好みの献立を聞いている。おせち料理等の行事食も楽しみにしている。野菜の下ごしらえや人参・じゃが芋の皮むき、梅干しづくり等、一緒に行い楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた食事形態で提供している。水分・食事摂取量はチェック表で確認しながら水分を少しでも摂って頂けるようにカップや飲み物など工夫し提供している。水分摂取の困難な方は、とろみ剤使用している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け誘導を行い利用者様に応じた対応に努め支援している。義歯は週2回口腔ケアセットは週1回洗浄消毒し清潔に使用して頂いている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用して一人ひとりの排泄パターン、習慣を把握しトイレの声掛け誘導を行っている。出来るところはして頂き出来ないところの支援を行いながら自立に向けた支援をしている。</p>	<p>排泄記録を基にタイミングをみてトイレ誘導をしている。できるだけトイレでの排泄を支援している。改善してオムツからリハビリパンツになったり、布パンツに改善された利用者もいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事を中心に食物繊維が多く含まれる食材を使用し毎朝、手作りヨーグルトを召し上がって頂き自然排便を促している。腹部マッサージ肛門マッサージも行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は設定しているが、一人ひとりの利用者様の意思を尊重しながら、利用者様が出来る事は見守りの中で行ってもらう介助支援している。入浴中少しでも楽しい時間になるよう心掛けている。入浴日以外は陰部洗浄を実施している。	入浴は週に2回、利用者が希望した時間に柔軟に支援している。入浴剤を使用してゆっくりと、職員とも会話しながら楽しんでいる。入浴を嫌がる場合は、職員間の声掛け等の連携で、個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調、生活習慣に合わせてゆっくり休んで頂けるよう支援している。レクの中で散歩・リズム体操など取り入れ安心して気持ちよく休んで頂ける様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は利用者様の病気をしっかり理解し、当苑支援の薬剤師の先生より服薬指導を受けながら(薬の使用目的、副作用など)薬の変更があった時は業務日誌で確実に申し送り、体調変化など気付けるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの暮らしてこられた日々を尊重し何が出来るかを一緒に考え出来る事の中から日々の役割を感じてもらえるように支援している。散歩・ドライブなど気分転換を図れるように支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍でありながらも利用者様のご希望に合わせて車にてドライブに行ったり、施設の周りを散歩したりと今までと変わらず外出支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍の中、感染対策をしながら近隣の散歩や受診の帰りにドライブをしている。桜や紫陽花・山の緑や稲穂を見ながら楽しんでる。正月は初詣、買い物に行き気分転換している。家族の協力でも墓参りも行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>当施設ではお金の所持は行っていない。コロナ禍で外出支援の買い物が出来ない為ご本人のご希望される物や必要な物は代わりに購入して支援している。外出が可能な時は、一緒に買い物に行き支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様の中には、携帯電話を所持されていらっしゃる方もあり好きな時に話される。ご希望があれば電話の支援を行っている。行事等の機会にご家族に手紙を書いて頂くなど支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共同空間は一目で分かるようにネームプレートを活用し混乱を招かないように工夫している。フロア内は季節を感じて頂ける様に装飾し花や草花を飾り居心地の良い空間づくりに努めている。光の調節はカーテン・照明などで調節し温度・湿度計を用いて快適に過ごせるように支援している。</p>	<p>ホールや玄関に花を飾り、季節感を楽しんでいる。エアコンや空気清浄機を設置している。天井が高く採光がよく明るい。ソファが置いてあり、ゆっくり寛ぐ利用者の姿がある。季節に応じた装飾がされ、日めくりカレンダーや週刊誌や新聞も置かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日々の生活の中で利用者様同士の関係性を把握し席の配置に考慮している。その日の利用者様の表情や体調などに気を付け居室への声掛け誘導を行っている。ソファを置き思い思いに過ごせるように支援している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様一人ひとりの馴染みの家具・布団・家族写真など持って来て頂き自宅での生活と変わりなく安心して過ごして頂ける様に支援している。</p>	<p>エアコン・ベッド・タンスが設置してある。家から持ち込まれた家具類・椅子・ぬいぐるみ・週刊誌・遺影・家族写真などが持ち込まれている。プライバシーも守られ安心してゆっくりくつろげる部屋になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様が一人で手摺りを使って歩けるように動線を確認し、何がどこにあるか分かりやすく表記し安心して生活が送れるように支援している。(また共有スペース内も見渡すことができるため安心して生活が送れる)</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない